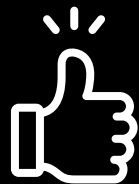


Basketball information magazine delivered by on the court

HUSTLE BOARD

BASKETBALL COMMUNICATION PAPER

VOLUME 10



TAKE FREE

ご自由にお持ちください。

ハッスルボード

特別創刊号

2023年7月20日発行

発行/(株)オンザコート

<http://www.onthecourt.jp/>

インターハイ2023 特集号

ON THE COURTが総力を上げてお届けする、バスケットボールの情報誌。

創刊号は2023年インターハイや5月に行われたOTC/SPAZIOカップリポートをお届けします。



002

Inter High School Championships 2023

全国47都道府県予選

ダイジェストリポート

熱戦激闘 PICK UP

近畿ブロック大会 女子決勝

004

Regional tournament in Kyushu

地区ブロック九州大会

九州学院/県立長崎西/県立川内

県立小林 男子・女子/柳ヶ浦

東海大付属福岡

005

That inter high

私のあの夏、
プレイバック

007

On the court coaching aid

「コーチングエイド」

その使い方とは・・・

008

OTC/SPAZIO CUP

姫路イーグレッツ/滋賀銀行Lake Venus/紀陽銀行ハートビーツ

日立笠戸/鶴屋百貨店/播磨ホワイトボックス/アストライア/アステム湘南

大阪体育大学/大阪人間科学大学/関西外国語大学/OTCくきや

010

Nissy's travelling talk

Nissyのアメリカ観戦旅行記

011

TOPIX—all about basketball

デンソーアイリス新戦力/ルールクイズ/バスケット映画/街コート

012

Hustle board column

皆人公平 寄港中

Presents

読者プレゼント

真夏の真剣勝負、
舞台は北の大地

SPECIAL FEATURE

Flying Young

Wings,

Hokkaido

Comprehensive

Athletic

Tournament

2023

Roar the heartbeat of the sword. To the northern land and sky. The date is July 25-30

CHAMPIONSHIPS 2023

INTER HIGH
2023真夏の真剣勝負、
舞台は北の大地

高校日本一を決めるバスケットボールの大舞台、インターハイ(全国高校総体)は2023年7月25日(土)30日、北海道札幌市の北海きたえーるを主会場に開かれる。全国の男女合わせて7000を超えるチームが5月から予選に挑み、出場権を勝ち取ったのは男子53チーム、女子51チームの計104校。そのすべての道のりが、夏の頂点へとつながっていく。

北海道

36年ぶりに1日開催の北海道は、予選も熱かった。男子は東海大札幌、旭川工業、駒大苫小牧の3校が決勝リーグで2勝1敗で並び、出場権を獲得。ただ出場を逃した札幌工業も東海大札幌に4点差に迫る粘りを見せて盛り上げた。2校出場の女子は札幌山の手が制し、40大会連続47回目の出場。2位は日本航空北海道が札幌東商を2点差で下し、創部1年目選手全員が1年生で全国切符を掴む快挙を成し遂げた。

BOYS

東海大札幌
旭川工業
駒大苫小牧

GIRLS

札幌山の手
日本航空北海道

東北

◆青森男子は八戸学院光星が、八戸工大一高に82・58で勝ち4年ぶり5回目、女子は柴田学園が八戸学院光星を62・60で振り切り8大会連続19回目の出場を決めた。

◆岩手男子は、一関工業が準決勝で60点差、決勝も42点差の圧勝で2大会連続4回目、女子は盛岡白百合学園が一関修紅にリードを許すも後半逆転し24回目の夏の切符を得た。

◆宮城男子は、佐藤久夫コーチが急逝した仙台大明成が危なげなく勝ち上がり、聖和学園を85・45で下して11回連続15回目。女子は聖和学園が仙台大明成を77・57で退け、2年ぶり49回目の出場。

◆秋田は、男子の能代科学技術が激しいディフェンスで秋田工業を84・56で下し58回目の夏。女子は県新人大会も制した秋田中央が、12連覇を目指した湯沢湘北を75・67で破り17年ぶりの切符をつかんだ。

◆山形男子は地力に勝る羽黒が決勝も山形中央に93・65で完勝し2年連続5度目の優勝。女子は山形中央が山形商業を72・57で下し、こちらも2年連続5回目の出場を決めた。

◆福島は決勝は男女ともに福島東稜と帝京安積の対決。男子は福島東稜が89・62と帝京安積を圧倒し、女子も福島東稜が帝京安積を84・51で退けた。

関東

◆茨城男子決勝は、土浦日大が89・53でつくば秀英を下し、3年ぶりに夏の大舞台へ。女子も土浦日大が、下妻第一に70・62で勝ち13回目の出場。

◆栃木男子決勝は、文星芸大附属が3連覇を目指す宇都宮工業を94・67で撃破。女子は作新学院が昨年覇者の矢板中央を67・54で下した。

◆群馬男子は準決勝で前橋育英を3点差で下した桐生第一が、前橋商業を83・69で退け11年ぶり。女子は市前橋が、桐生商業を破った市太田を82・58で下し2年ぶり19回目の優勝。

◆埼玉は男子が正智深谷と埼玉栄の決勝。正智深谷が後半追い上げて逆転、68・64と競り勝った。女子は昨年準決勝で涙のんだ昌平が3連覇を目指す埼玉栄を90・72で振り切った。

◆激戦区千葉。男子は昨年の覇者、市船橋を下した拓大紅陵が、習志野に競り勝った日体大柏を78・60で下し初めて夏を制した。女子は関東大会も制した千葉経大附が74・59で昭和学院を破り、2年連続8回目。

◆男女2校が出場の東京。男子は八王子学園八王子、実践学園、国学院久我山、成立学園の4チームが決勝リーグに進み、初戦は八王子が久我山に84・72、実践は成立に延長の末67・58と粘り勝ち。トータル八王子が3勝、実践が2勝で出場を決めた。女子は明星学園、東京成徳大高、実践学園、佼成学園の争いとなり、明星が3戦全勝で12大会連続51回目、実践を69・62で下した東京成徳が4年ぶりに夏の全国に戻る。

◆同じく男女2校枠の神奈川。男子決勝リーグは桐光学園、法政二、東海大相模、湘南工大附が激戦し、2勝1敗で並んだ桐光と東海大相模が出場。湘南工大附は法政二に、法政二は桐光学園に勝ったが届かなかった。女子は鶴沼が3戦全勝で5大会連続5回目、2位は横浜立野が星槎湘南を66・55で破って初出場を決めた。

BOYS

青森 八戸学院光星
宮城 仙台大明成
山形 羽黒
岩手 盛岡白百合学園
秋田 秋田中央
福島 福島東稜

GIRLS

青森 八戸学院光星
宮城 仙台大明成
山形 羽黒
岩手 盛岡白百合学園
秋田 秋田中央
福島 福島東稜

BOYS

山梨 男女ともに日本航空。男子は自然学園を120・75と圧倒し6年ぶり6回目。女子は富士学苑を94・48で下し2年連続2回目の1日に挑む。

GIRLS

山梨 男女ともに日本航空。男子は自然学園を120・75と圧倒し6年ぶり6回目。女子は富士学苑を94・48で下し2年連続2回目の1日に挑む。

北信越

◆長野男子は東海大諏訪が、松商学園を93・65で下し16連覇。女子は県新人戦で佐久長聖に1点差負けした東海大諏訪が102・67と雪辱を果たした。

◆新潟男子は昨冬全国王者の開志国際が帝京長岡を87・73で撃破。北信越大会も制し、目指すは夏の戴冠。女子も開志国際が新潟中央を83・65で下し、9大会連続出場を決めた。

◆富山は男女とも高岡第一が出場。高岡工業を80・55で下した男子は3年連続4回目、龍谷富山を81・58で破った女子は4年ぶり8回目の夏。

◆石川男子は2013年の創部から今や全国区の強豪、北陸学院が金沢を79・52で退け8連覇。女子は鵬学園に競り勝った津幡を日本航空石川が79・63で下し、初優勝を果たした。

◆福井男子は北陸が福井商業を102・55で圧倒し、29大会連続50回目。足羽と福井商業の女子決勝は、足羽が福井商を後半逆転し、78・73で振り切った。

BOYS

長野 東海大諏訪
富山 高岡第一
福井 北陸
新潟 開志国際
石川 北陸学院

GIRLS

長野 東海大諏訪
富山 高岡第一
福井 北陸
新潟 開志国際
石川 北陸学院

東海

◆岐阜男子の決勝リーグは美濃加茂、高山、富田が2勝1敗で並び、得失点差で美濃加茂が2年連続11回目。女子は岐阜女子が全試合

熱戦
激闘

PICK
UP

京都精華の多彩なオフェンスに
激しい守りで対抗した大阪薫英

70回目の女子近畿大会。昨年のインターハイで悲願の初優勝を果たした京都精華と、その決勝で涙のんだ大阪薫英が、昨年同様ファイナルで相まみえた。オールコートマンツーマンディフェンスでリズムをつかんだ薫英が1Qを21-11とリード。しかし京都精華は#5八木悠香と#15ディマロ・ジェシカのハイローなどで盛り返し、前半は33-33と互角に折り返す。勝負の3Q、薫英は#5島袋栞の3Pなどで攻め立てるが、京都精華はジェシカのインサイド、#4堀内桜花のドライブなどで加点し57-52と逆転して最終Qへ。両者譲らず残り4分、京都精華が6点リードで大阪薫英はタイムアウト、その直後連続3Pを決め残り2分で同点。

最終盤は薫英#4木本桜子#6木本桃子がフリースローをきっちり沈め、最終スコア73-70で大阪薫英が35回目の優勝を手繰り寄せた。安藤香織ヘッドコーチは「どんな状況でもあきらめない気持ちが勝利につながった」と選手たちのメンタルを評価。木本桜子主将も「守備は最後までしつこく、攻撃はより運動性を高めて、もちろん日本一に向かう」と宣言した。

近畿ブロック大会 女子決勝

INTER HIGH SCHOOL

文・写真 大山 伸一郎
text & photographs by Shinichiro Oyama

ダブルスコア以上の貫録勝ちで30大会連続の出場。

◇静岡男子。藤枝明誠は浜松開誠館に89・58の快勝。女子は浜松開誠館が市沼津を83・50で下した。

◇2校枠の愛知男子は中部大第一が決勝リーグ全勝で16回目。2位は安城学園を86・49で下した桜丘が入った。女子は桜花学園が94・41と名経大高蔵を突き放し、40回連続の節目を飾った。

◇三重男子は、四日市工業と四日市メリノール学院が対戦。四日市工が逆転劇で68・66と3年ぶり43度目の優勝。女子は四日市メリノール学院がいなべ総合学園に82・73など全勝で2年ぶりのIH切符をつかんだ。

GIRLS 岐阜 美濃加茂 静岡 藤枝明誠
愛知 中部大第一・桜丘
三重 県立四日市工業
岐阜 岐阜女子 静岡 浜松開誠館
愛知 桜花学園
三重 四日市メリノール学院

近畿

◇滋賀男子は、光泉カトリックが草津東を76・42で下し17回目。女子は草津東と滋賀短大附属の決勝、前半リードを許した草津東が滋賀短大附を3Qで逆転し67・57と押し切つて2年ぶりの出場。

◇京都男子の決勝は東山と京都精華学園。東山は#4佐藤友、#5瀬川琉久らが得点を重ね87・69と4年ぶりの優勝を果たした。女子は京都精華が実力通りの試合運びで京都両洋に91・49で完勝。10大会連続の出場を決めた。

◇2校が出場権を得る大阪男子は、阪南大高と大阪学院大高がともに2勝で決勝リーグ最終戦へ。90・87の大激戦は阪南大に軍配が上がった。女子は昨年インターハイ準優勝の大阪薫英女学院が格の違いを見せ優勝。2位には大阪桐蔭が入り9回目の夏。

◇兵庫男子決勝は報徳学園と育英のライバル対決。最終Q残り2分で1点差という展開の中、報徳はこの試合29得点の#7森本虎志らの活躍で突き放し、84・74で5大会連続出場を決めた。女子は三田松聖が宝塚西を93・66で下し、悲願の初優勝を果たした。

◇奈良男子は奈良育英と奈良の最終日決戦、奈良育英が70・64で奈良を退け3連覇。女子は奈良文化と奈良女子。1Qの3点リードを最後まで守った奈良文化が59・56で33回目の出場。

◇和歌山男子は和歌山南陵が全試合100点ゲーム。決勝も和歌山北を141・66と圧倒し三連覇。女子は昨年と同カードで、和歌山信愛が

市和歌山を64・51で破り35度目の代表の座を射止めた。

GIRLS 滋賀 光泉カトリック 京都 東山
大阪 阪南大高・大阪学院大高
兵庫 報徳学園 奈良 奈良育英
和歌山 和歌山南陵
滋賀 県立草津東 京都 京都精華学園
大阪 薫英女学院・大阪桐蔭
和歌山 三田松聖 奈良 奈良文化
和歌山 和歌山信愛

中国

◇鳥取は男女ともに鳥取城北。男子は鳥取東を87・72で下し4大会連続4回目、女子は鳥取西を83・49で破り3大会連続4回目の出場を果たした。

◇島根決勝は男女ともにワンポゼッションゲームの大接戦。男子は松江東が出雲北校の猛反撃をしのぎ、77・76で振り切った。女子は最終Q8点差を追う松徳学院が松江商を56・54と逆転し2年ぶりの優勝。

◇岡山男子は岡山商大附属が昨年の覇者・岡山工業を91・65で破り、女子は就実が倉敷翠松を準決勝で破った明誠学院を76・57で下した。

◇広島男子は広島皆実と瀬戸内の決勝。出だしてから先行する瀬戸内に対し広島皆実が粘りを見せ、最終Qに迫いつき88・78で23回目の出場。女子決勝は広島皆実が広島観音を80・56で下し24回目の夏の切符。

◇山口は男子決勝に豊浦と宇部工業が残り、豊浦が65・42で30回目の優勝。女子は徳山商工が96・71で慶進を下し、8大会連続9度目の出場を決めた。

四国

◇徳島男子は海部と城東の決勝。最終Qまでリードチェンジを繰り返したが、海部が77・74で振り切った。女子は激しい守備で圧をかけ続けた富岡東が105・61で城北を下し4連覇。

◇香川男子は尽誠学園が122・70で高松商業を下し3年連続15回目。女子は英明が82・62で高松南に勝ち5年ぶり30回目の優勝を飾った。

◇愛媛男子は、新田が決勝で松山工業を79・72で振り切り48回目。女子は聖カタリナ学園が済美との決勝も106・69と圧倒し28回目の出場。

◇高知男子は明徳義塾が高知中央を97・65で破り3年連続15回目、女子は高知中央が岡豊に62・43と昨年の雪辱を果たした。

GIRLS 徳島 県立海部
愛媛 新田
徳島 県立富岡東
愛媛 聖カタリナ学園
香川 英明
高知 明徳義塾
高知 高知中央

九州

◇男女とも激戦地の福岡。男子は昨夏王者の福岡第一と福大大濠の2強に八女学院、東福岡も挑んだものの、福岡第一が大濠を100・89で下し夏連覇への第一関門を突破。女子は昨年全国4強の東海大福岡に加え福大若葉、精華女子、筑紫女学院が準決勝で激突。決勝は前半で14点のリードを奪った精華女子が東海大福岡を57・52で下し福岡代表の座を射止めた。

◇佐賀男子は佐賀北が決勝リーグを3戦全勝で2年連続24回目。女子は佐賀清和が最終戦で佐賀北を103・96で下し、40回目の夏の切符を手にした。

◇長崎男子は決勝リーグを圧倒した瓊浦が、23年ぶり9回目の出場。実力伯仲の女子は長崎西が3戦とも一桁点差の試合を勝ち切切る粘りを見せ、2年連続13回目の優勝。

◇熊本男子は九州学院が東海大星翔を104・75で突き放し6大会連続25回目、女子は慶誠が昨年覇者の熊本商業を86・39で退け4年ぶりの優勝を飾った。

◇大分男子は別府清部学園と柳ヶ浦の決戦。別府清部学園が71・66と逆転勝ちで昨夏全国16強の柳ヶ浦にリベンジした。女子は昨夏IH初出場の大分が明豊に98・86、藤蔭に80・66と勝利を収めて連覇。

◇宮崎は男女ともに小林と延岡学園が覇権を争う構図が続く。男子は延岡学園が小林に111・75、女子は小林が延岡学園に89・70とともに昨年夏の雪辱を果たした。

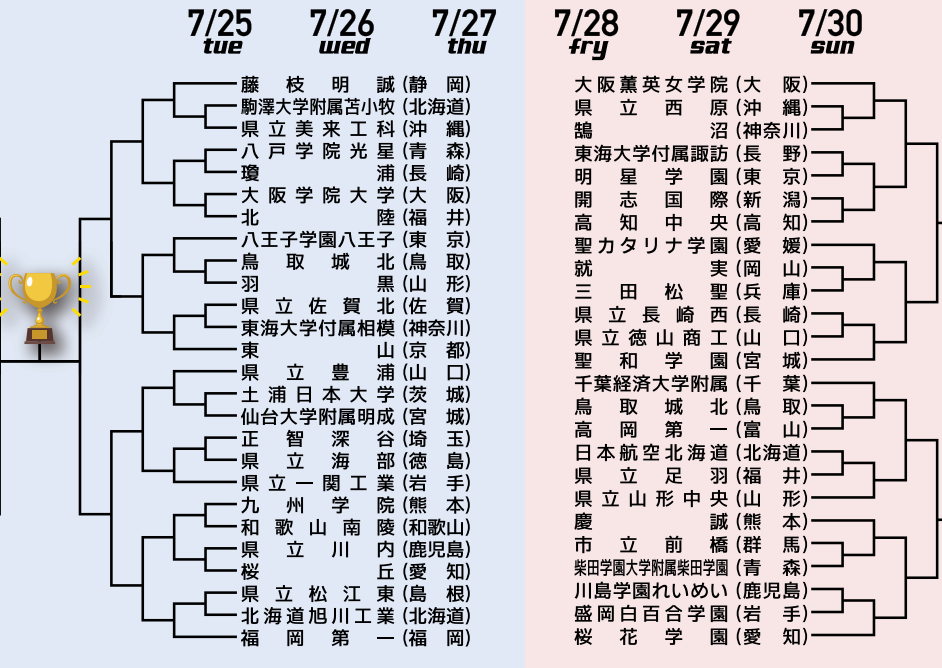
◇鹿児島男子は決勝リーグで川内、れいめい、鹿児島工業が2勝1敗と並び、得失点「率」でれいめいが0・0・0・2上回った川内が2年ぶりの優勝。女子はれいめいが昨年覇者の鹿児島を79・65で下し4年ぶりの頂点に立った。

◇沖縄男子は昨年12年ぶりに夏の全国へ返り咲いた美来工科が那覇に99・48で勝利。女子は西原がKBC学園未来を78・63で下して2年連続9回目のインターハイ出場をつかみ取った。

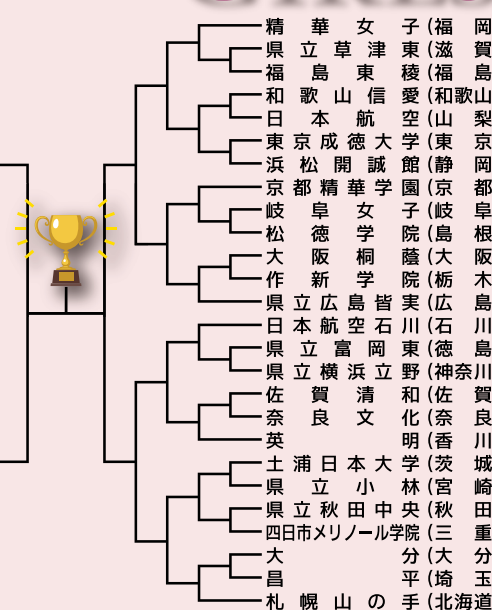
GIRLS 福岡 精華女子
長崎 瓊浦
大分 別府清部学園
鹿児島 県立川内
佐賀 県立佐賀北
熊本 九州学院
宮崎 延岡学園
沖縄 県立美来工科

2023 全国高等学校総合体育大会 バスケットボール競技大会

BOYS



GIRLS



Flying Young Wings, Hokkaido Comprehensive Athletic Tournament 2023 Summer. Roar the heartbeat of the sword. To the northern land and sky. The date is July 25-30

INTER HIGH SCHOOL CHAMPIONSHIPS 2023

梅雨空に覆われた6月、各予選上位校が競う地域ブロック大会が開催された。シードを決める真剣勝負、来年IHが開かれる福岡での九州大会から注目校をリポートする。

九州学院

Kyusyu Gakuin High School
速さと創造性がプレーに彩りを添える
九州学院・兼瀬友貴



同校出身の田中洋平監督が「素直な負けず嫌い」をテーマに掲げ、素直さと競争心の方向性を見失わない「心」の指導を重視する。長身選手がそろった昨年と比べるとサイズはないが、逆境にも動じないメンタルとスピードが魅力の#11兼瀬友貴ら主力には2年生が多く、オールコートでアグレッシブに攻める守備が武器。攻撃ではアウトサイドシュートが生命線となる。不安要素は経験不足。九州大会を制した福岡第一には思うようなシュートを打たせてもらえなかったが、夏の北海道では先輩たちの実績を超えるベスト8が目標だ。

ゲームキャプテンの平野和々美(石巻)を中心に団結する小林



宮崎県代表
GIRLS

県立小林

Kobayashii High School

「日本一」となるという「目標」を使って「人間性を獲得する」という「目的」を達成することがチームのゴール。「自分たちがバスケットを使っていろんなことを学ぶ」、それが橘裕監督の願いだ。準決勝では精華女子相手に3Qまで互角の勝負を演じたが最後の10分で引き離された。1年の冬からけがが続いてコート復帰はインターハイ後になる下之園空心主将は「去年の夏、全国に行けなかった経験から、チームのためになることははっきりと伝えるようにした。もう後悔はしたくない」と、チームの成長を力強く宣言した。

出場権を逃しながらも、大会を盛り上げた各県2位校。夏以降を見据えた経験も手にした。

得点能力が魅力の小林・田中瑛太



宮崎県第2位
BOYS

県立小林

Kobayashii High School

チームスローガンは「限りなき挑戦と前進」。県予選では延岡学園に111-75と差をつけられた。石川祐二監督は「考え方も行動力も、まだまだ甘い」と手厳しい一方で、全国8強まで勝ち上がった2年前と比べても「ブレイク、ブッシュのスピードは上」と期待も寄せる。長崎王者の瓊浦に88-102で屈したが収穫は得た様子で「原点に立ち返ってオフェンスもディフェンスもファンダメンタルから鍛え直したい」とモチベーションも高い。冬に向けては先輩たちが成し遂げた壁を超え「やるからには日本一」と覚悟を決めている。

熊本県代表
BOYS



県立長崎西

長崎県代表
GIRLS

試合中、チームメイトを鼓舞する長崎西・清水理沙

巨大横断幕に掲げるのは「ココロハヒツ」～強く、速く、泥くさく～。サイズ不足は否めないが、それを補うためのトレーニングは積んできた。個々がしっかり責任を持って守り、全員がポジションに縛られることなく攻められるのが強味。学校での授業も含めた日常生活では「自由と自律」をモットーとしており、そのベースがチームの特色にもにじむ。九州大会2回戦では精華女子と前半互角に渡り合うも、後半突き放され30点差で敗れたが課題は得た。チームの精神的支柱は田中佐和子監督も信頼を置く#4清水理沙。仲間を背中で引っ張る頼もしいキャプテンだ。

誰が出てチーム力が落ちない総合力で全国に挑む川内

鹿児島県代表
BOYS

県立川内

Sendai High School

2年ぶり25回目のIH。同校出身の田中俊一監督も1975年に主将として出場した。「文武両道」を掲げ、サブテーマの「地に足つけて」通り、堅実なゲーム運びが信条。ギャングル的要素を削いでしっかりと守り、攻撃ではシュートセレクションを重視、運動性を高めたオフェンスでロースコアの展開に持ち込み勝機を探る。九州大会2回戦では福大大濠相手に1Qをリードしたように、高さではなく基本的なボックスアウト、ルーズボールなど球際の強さを見せる。エース的な存在はいないが選手層の厚さでIH初戦突破を目指す。



福岡県第2位
GIRLS

東海大付属福岡

Tokaidai Fuzoku Fukuoka High School

「感謝こそ原点」を合言葉に、昨年はIH、WCともに全国4強まで駆け上がった。特に冬は桜花学園を劇的勝利で下す快進撃で注目を集めたが、今年の福岡予選は精華女子に5点差でIHに届かず。敗戦後、宮崎優介監督はプレーを細かく追究する手法を選手に提案。すると#11境さくら主将が「楽しくなってきた」と言うように、悔しさを進化へつなげるべくモチベーションを上げて九州大会に臨んだ。他県1位を次々と撃破し進んだ精華との決勝、再び接戦を繰り広げ、残り24秒で同点。シ最後はユートをねじ込まれ惜しくもリベンジとはならなかったが「この負けをどう生かすかは自分たち次第」とキッパリ。「ここから」を自覚したキャプテンを中心に捲土重来を期す。

ゴール下で存在感を示す柳ヶ浦のポディアン・ブノア



大分県第2位
BOYS

柳ヶ浦

Yanagigaura High School

「信和力成(しんはちからなり)」のチームフラッグは17年前、沖縄出身の中村誠監督が赴任した直後に地域で親くなった人たちが作ってくれたという。3連覇を目指した大分県予選は攻守で献身的な働きを見せた松本太地をけがで使えず、別府清部学園に5点差で屈した。九州大会は沖縄1位の美来工科に4点差で届かなかったが、チームで一番よくしゃべるというポディアン・ブノア(2年)を中心に「信念を持って和を大切に、力の限り努力すれば成功する」と、過去の最高成績(全国16強)を超える成功を目指して爪を研ぐ。

on the court That interhigh それぞれのインターハイ

バスケットで広がる出会いに 感謝と喜び。

矢田 貴海 営業フロント
kimi yata

和歌山信愛高校 ▶ 関西外国語大学

信愛高校に入学したのは、たまたま練習試合で強豪チームと対戦したことがきっかけになりました。その時はメンバーが5人しかいませんでしたが、対戦したのが津島市立藤波中学(愛知県)。全国大会をダントツで制覇(2014年)する強豪で、1クォーターだけで650ぐらいのポロポロなやられ方。ただ、その6点すべて私の得点でした。試合内容はあまり覚えていませんが、試合後信愛高校の先生から「よかったらうちに来ないか」とお話をいただきました。

バスケットを始めたのは小学校のミニバスのコーチが偶然、母の高校の先輩だったから。学校でもらったミニバスの案内を母に見せ、「やってみよう」というと賛成してくれて。それまで母がバスケット経験者だとは知りませんでした。

小学3年生だったと思いますが、その頃の上級生は強くて近畿大会に出場するほどの強豪チーム。練習に行ってみると想像以上に練習がしんどく感じ、「辞めたいな……」と。それとなく母に言いましたが、メッチャ怒られてしまい、「もしもの話やから」と言い逃れして、そのまま続けることになりました。

私が上級生になった頃のチームはそれほど強くはなく、実は中学校では陸上部に入るつもりだったんです。ところが陸上部がなくてバスケット部に入部。やっぱりバスケットが楽しいから続けたんだと思います。実際、やっていたうちに楽しくなってきました。中学校のチームは大阪市の大会で上位に入るもの、府の大会を勝ち抜き実力はありませんでした。



後輩からモテモテだった高校時代

まだプレーを続けたいという気持ちで強く、現在は『OTCくきや』で選手としてプレーを続け、営業フロントという仕事に携われる環境にとても満足しています。(バスケットという共通点があるだけで会話が弾みますし、バスケットを通じて得た、たくさんの出会いにやりがいを感じています。今後はチーム『OTCくきや』のInstagram作成などSNSに関わる仕事、動画作成などにもトライしたいと思っています。

入学してから感じたのは「インターハイは今まで積み上げて来た練習の成果を発揮する場」だということ。大学でもバスケットを続け、2回生の時に2部降格を経験しましたが、3回生で1部復帰。4回生ではインカレ出場を視野に頑張っていたものの、残念ながらその年はコロナ禍により公式戦がすべて中止に。ある意味、不完全燃焼のまま卒業することになりました。

入学してから苦労したのはプレーの面というよりは(進学校で)勉強と部活を両立できるかどうかの不安。努力の甲斐があり、インターハイは出場した3回ともユニフォームを着ることができ、中学の頃に抱いた憧れの場所に立てたのは嬉しかったです。

正直、迷いました。信愛はインターハイ出場が当たり前のチームで、他校から有力な選手が集まっています。試合に出られないかも知れないし、やるからには試合に出たかったのでも……それでも、インターハイという舞台を経験してみたいという思いも強く、その魅力が大きかったですね。

入学してから苦労したのはプレーの面というよりは(進学校で)勉強と部活を両立できるかどうかの不安。努力の甲斐があり、インターハイは出場した3回ともユニフォームを着ることができ、中学の頃に抱いた憧れの場所に立てたのは嬉しかったです。

インターハイ出場者が語る、あの夏の思い出 「オンザコートスタッフ青春プレイバックインタビュー」

小

学校の体育の授業でドリブルレッスをした際、クラスで一番だったのがきっかけでバスケットを始めました。中学校でもバスケットを続け、その後札幌日本大学高校へ。

札幌日本大学高校に入学したのが高校3年の夏、1992年の宮崎インターハイです。この年はパルセロナオリンピックが開催され、M・ジョーンズ、L・バード、M・ジョーダンらが脚光を浴び、代表として初代ドリームチームが脚光を浴び、『SLAMDUNK』(井上雄彦/集英社)の連載によりバスケットが盛り上がりつつあった頃です。

ドリームチームと スラムダンク真ただ中!

濱辺 丈夫 東京営業所
takeo hamabe

札幌日本大学高校 ▶ 日本大学

実際にインターハイ予選を迎えた時、ベンチに飯村先生はいらっしゃいませんでした。それでも試合前には何を食べるとか、試合前日はどうやって過ごさないとか、僕たちが自分自身でしっかりコントロールできるように指導して下さっていたんです。一緒に過ごした時間は短かったんですが、「よし、いけるぞ!」というメンタルで試合に臨めたのは間違いありません。

当時、北海道では東海大学第四高校が抜き出た存在でしたが、運よく決勝まで当たらなかった組み合わせに準決勝でも1つの強豪校、札幌光星高校を63:60で破り、その時点でインターハイ出場が決まりました。インターハイの宿舎では東海大のメンバーと一緒にドリームチームの試合を見てはテンションを上げて1回戦に臨みましたが、暑い夏はそこで終了、ちなみにその大会の最大失点だったらしいです。

インターハイを経験して良かったのは、将来のことをぼんやり考えていてもバスケットでなにかを成し遂げたいという気持ちが、現在の仕事に通じる大切な岐点だったと思います。プロからミニバスまでのカテゴリーのチームや選手をサポートしながら、自分の手掛けた商品を見てもらえるところに仕事の喜び、醍醐味を味わっています。



1992年の夏、小遣いで買った「月バス」は大切な宝物に

友

だちに誘われて、「軽い気持ちでミニバスから始めました。辞めたいと思うこともあったんですが、「1度やると決めて入ったなら、最後までやりきらない」と母から怒られ続け(笑)、最後まで続けることにしました。

中学でもバスケットを続けましたが、芦屋の精道中学校は強いチームで、兵庫県の代表として近畿大会にも出場しました。中学時代はバスケットを頑張り、それで推薦をいただいたことで甲子園学院高校に進学したんです。

下馬評を覆す大熱戦、 一番緊張していたのは!?

野口 亜紀 営業部・受注管理センター
aki noguchi

甲子園学院高校 ▶ 園田学園女子大学

この試合ではスタンドを見渡すと、一緒に兵庫代表で出場した男子の市立尼崎高校、女子の神戸龍谷高校が必死で応援してくる光景があり、今でも目に焼きついてます。自分のバスケット生で一番心に残る試合になりました。結果は、接戦を制して3回戦に勝ち上がる事ができました。次戦で札幌山の手高校には大差で敗戦……まるで『SLAMDUNK』みたいに青春真っ只中の思い出です。

現在の仕事では、たくさんメーカーがある中で「オンザコート」を選んでくださるバスケット選手たちがいて、その注文を受けてくれる小売店さんがいて、そして私たちがその注文を引き受ける。そのつながりが縁を大事にしたいと思っています。「ありがとう」と言っていたいた時にこの仕事に携われて良かったと思いますし、バスケットに助けられたんだと実感しています。

特に3年生の時は、最後のインターハイでもあり、1試合でも多く先生や仲間と戦いたいという気持ちが強かった。インターハイはそういう大会でした。

インターハイにまつわる思い出深いエピソードとしては、3年生の時の2回戦、前年準優勝の熊本国府高と対戦した時のこと。下馬評では私たちはここで負ける、と言われていたんです。それでも霜村先生の戦略や指示がズバリと当たり、試合は大接戦に。

最後の最後まで分らない展開でしたが、私たち選手は意外にも冷静で落ち着いていたと思います。最後のタイムアウト、指示を出す先生が持つペンが震え、声は上ずったまま「みんな落



オレンジカラーが鮮やかな「KOSHIEEN」ユニフォーム

あなたとともに

プレイヤー目線で商品を提供したい。
創業と同時に立ち上げた「ボールライン」は、種類豊富なプラクティスウェアを中心に展開。
多様な機能、多彩なデザインが幅広く支持されるメインブランドです。

想像を超えて

シンプルに、抜群の機能性を求めるトッププレイヤーのために
「パスザロック」は生まれました。生地やディテールにとことんこだわり、
想像以上の着心地を実現させた次世代ブランドです。

チームを支える

ユニフォームなどチームアイテムを主流に「オンザコート」の選手や
スタッフをサポートする。そう誓い続けるラインナップ。
チームの要望に徹底的に応え、レフリーアイテムも数多く揃っています。

愛され続け

BALL LINEブランドの、SNOOPYライセンスウェア。世界中で愛される
『ピーナッツ』のキャラクターをフィーチャーした、バスケットボール
専門メーカーとして初めてのコラボブランドです。

信頼され

飽きのこないデザインで、信頼をさらに高めるコーチングウェア専門ブランド
「OTCプレイゾーン」。機能性と洗練されたスタイルを両立し、
学校現場などオフィシャルな場でも指導者をサポートします。

決して屈しない

相手に惑わされず、己をコントロールする。
2022年冬に復刻した『トラッシュトーク』は、オンコート、オフコート問わず
着こなせるアイテムを中心に、ジャンルの壁を超えたデザインを展開します。

懸け橋に

全国6都市に展開するオンザコート直営店「ボールーズ」のオリジナルアイテム。
ウェアやバッグから、ステーションナリーなどの小物まで、
バスケットボールに関連するグッズを幅広く手がけています。

わたしたちは、オンザコートです

バスケットボールに関わる
すべての人たちのために

BALLER'S stores



[本社] 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-4-8 ☎078-303-3377 [東京営業所] 東京都墨田区両国 1-8-3 内貴ビル 1F ☎03-6659-4883

「オンザコート×コーチングエイド」

日本バスケットボール協会(JBA)の男子強化部長や早稲田大学男女バスケットボール部の総監督を務め、NBA解説、執筆活動などでも活躍する倉石 平(くらいし おさむ)さんが、チームを支えるコーチのために開発された「COACHING AID」のイチオシポイントを解説します!

OCA-005 軽量

ELITE FINISH BUMP

●サイズ: H400×W300×D90mm
¥4,950 税込

バンプは従来ラグビーやアメリカンフットボール用に開発されたものを使ってきました。しかし、コンタクトフィニッシャーのようなスキルが要求されるようになり、ディフェンスと空中のポジション争いを選択せざるを得なくなったことで登場したのが(小型化した)エリートフィニッシュバンプシリーズです。使うコーチ陣も練習を積み重ねないと、プレーヤー自身、そしてバンプを駆使する指導者自身もけがをしてしまう可能性があります。うまく操って、ゲームでよい成果を出せるように、いろいろなシチュエーションを想定して使ってみてください。必ずや良い成果が見込めるはずです。

NBAはもちろん、NCAAなどでは必需品です。日本でも当たり前の練習道具として手助けをしてくれるはずです。みなさんの英知を駆使してうまく操って、ゲームに良い成果が出ることを期待しています。



OCA-003

DEFENDER EXTENDER

●サイズ: 420×Φ150mm
¥4,400 税込



エクステンダーは、今までにあまり類を見ないものでしょう。

フィニッシュ時に相手の大きさやブロックが気になる選手は、いつも通りではないショットを放ってきました。しかしこのエクステンダーの登場で、難しい場面でも、ひるむことなく相手に向かってショットを放つという積極的な仕掛けができるようになります。また、最終的に相手の手などが触れる、いわばバスケットカウントも多く生む結果となるはずです。

タッチもソフトにできていますから、相手の手、つまりエクステンダーに当たりながらショットを放つ、また、ぶつかってからのようにしたらショットができるかなど工夫も見られるようになるはずです。

バンプとエクステンダー、両刀使いも工夫次第で可能かと思えます。ゲームの中に必ずや出てくるシチュエーションですし、コンタクトが避けられない近代バスケットにおいて不可欠なスキルに身に付けるには欠かせないツールとなるでしょう。



COACHING AID

OCA-002 CUSTOM

DEFENDER ON THE COURT

●サイズ: H1200mm
¥11,000 税込

5年ほど前、米国のスタンフォード大学で類似したものを見て、これは良いとすぐに思いました。このポップアップディフェンダーは、ディフェンスの想定も、オフenseのスクリーン想定もできます。従来はコーンや

コーン、マネージャーを立てたりして行ってきたため、スピードを緩めてしまいイメージトレーニングに近い恰好でした。しかし、この商品は高さがあり、実戦に近い動きを再現できます、ぶつかれば倒れるので、危険回避もできます。小さくためるので合宿や遠征にも簡単に持ち運びもできて便利です。ウォームアップにスキルトレーニング、ボールハンドリング、シューティングにもってこいの存在です。



CB-001 CUSTOM

PLAYMAKER WHITE BOARD

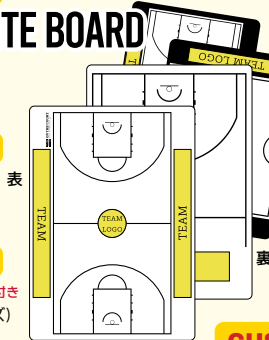
【A3】
●サイズ: 420×297mm
¥9,680 税込

CB-002 CUSTOM

【A4】
●サイズ: 297×210mm
¥7,700 税込

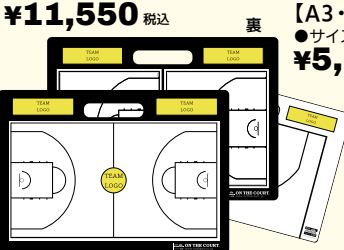
CB-001M CUSTOM

【マグネット対応】●マグネット付き
●サイズ: 420×297mm (A3サイズ)
¥14,300 税込



CB-001C CUSTOM

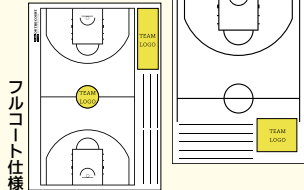
【A3・取っ手付き】
●サイズ: 297×420mm
¥11,550 税込



CB-003 CUSTOM

PLAYMAKER MAGNETIC SHEET

【A3・マグネット対応】
●サイズ: 297×420mm (A3サイズ)
¥5,500 税込



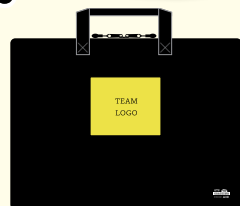
CBB-001 CUSTOM

BOARD CARRY BAG

【CB-001対応】
●サイズ: 340×460×200mm
¥2,200 税込

CBB-002 CUSTOM

【CB-002対応】
●サイズ: 250×350×200mm
¥1,980 税込



CUSTOM チームカラー・チームロゴ入りで作成が可能です。※掲載商品についてはオンザコートまで直接お問い合わせください。

T3C BASKETBALL CAMP IN YAMAGATA

2023
6.28
WED
▼
6.30
FRY



山形県東根市で6月28日から3日間、現役Bリーガーの西川貴之、鈴木悠介両選手や有望な大学生らが参加するバスケットボールキャンプ「T3C BASKETBALL CAMP」が開かれた。コーチはNBA解説や全国各地のクリニックでお馴染みの塚本清彦氏。個人のスキルアップドリルを中心に、3日間にわたって梅雨空を吹き飛ばす熱い指導が行われた。

2日目からは、市船橋高、筑波大出身でBリーグでもプレーし、人気YouTuberの枠を超えて活躍する「アオキックス」こと青木太一氏が飛び入り参加。選手に混ざってハードワークするなど、活気あふれるキャンプをさらに盛り上げた。ともに来季は新天地でプレーすることになった西川選手と鈴木選手。10月に開幕する「B」の舞台で、彼らの活躍にも期待したい。

MOVE WITH US OTCくきや 地域貢献クリニック

現役女子選手と“一緒に”練習をすることでバスケットボールのスキルを身近に学び、様々な戦術や考え方、そして何よりもバスケットボールの楽しさを感じてもらいたい。

そんな思いから、OTCくきや(全日本社会人バスケットボール連盟西日本地域リーグ)は『MOVE WITH US(いっしょに動こう)』をテーマに掲げ、地域貢献活動を続けてきました。新型コロナウイルスの影響で開催中止が続いていましたが、バスケットボールを愛する女子選手の皆さんの元へ、地域リーグで日本一を目指す選手とコーチが無償で出張クリニックを行います。

対象期間 2024年3月10日まで
期間は2カ月間で1チームにつき2～4回となります。

応募期間 【一 期】終了
【二 期】2023年8月1日～10月8日
【三 期】2024年1月8日～3月10日

対象 兵庫県・大阪府の小学生、中学生、高校生
最大25名まで ※女子チームに限りません。

時間 平日16:00～18:00
※土・日曜日はOTCくきやの公式戦への参加があるため原則活動しませんが、ご希望があれば調整いたしますのでご連絡ください。

場所 チーム(クラブ)にて開催会場をご準備ください。

受講人数に応じたコート、ボール、選手用更衣室の準備をお願いいたします。
応募はチームの代表者・顧問・ヘッドコーチ・Aコーチ・担任の方に限らせていただきます。

詳しくは
申し込みフォーム
から



OTC Kukiya

PLAY BASKETBALL FOR THE FUTURE

OTC / SPAZIO CUP REPORT

アステム湘南

大阪体育大学

大阪人間科学大学

関西外国語大学

Ohama Daishin Arena 2023.5.20-21

激しい守備、素早い切り替え、質の高いシュート 日本女子バスケット躍進の地力を確認

関西を舞台に大学、社会人（Wリーグ、地域リーグ）の女子13チームが集い競う「OTC / SPAZIOカップ」が5月20、21日、大阪府堺市の大浜だいしんアリーナで開かれた。異なるカテゴリーの強豪同士が腕を磨く場として、ON THE COURTが約10年にわたって主催する実戦形式のカップ戦。試合は限られた日程の中で、できるだけ多くの相手と対戦できるようにハーフゲームで行われる。Wリーグから大学生まで全13チームが参加した。今シーズンの飛躍を誓う指揮官たちの言葉から、各チームの2023年を展望する。

今回、唯一の「W」組となった姫路イーグレッツ。参入初年度ながらリーグ得点



OTCくきや 兵庫県

1991年、兵庫県実業団リーグに登録された女子チーム「KTS」がルーツ。葺合高校女子を全国大会に導いた久本捷氏（元兵庫県バスケットボール協会会長）の指揮で国体優勝を目標に活動し、2002年にチーム名を「くきや」に変更。近畿実業団選手権四連覇など躍進し、2009年、株式会社オンザコートが正式にサポートを開始して現在の「OTCくきや」に改称した。2018年からは日本社会人連盟地域リーグに参戦し、同社社員を中心に現在は選手12人が在籍、全国優勝を目指す。**山戸英二監督**「全員が主体性を持ち、混乱した局面でも正しい判断で乗り越えられるチームを目指す。底上げのためにはルーキーも含めベンチメンバーの奮起が必要。チャンピオンシップでの社会人日本一を見据えて戦いたい」

大学勢では、春の全関西を制して学生日本一を目標に掲げる大阪体育

王となった白崎みなみが今春シャンソンVマジックに移籍し、特に攻撃の軸は大きく変わった。伊與田好彦ヘッドコーチ（HC）は「エースの得点力がけん引した昨季と違い、今年はよりチーム全体に攻守のシステムを落とし込んで戦う」と、意欲をみなぎらせる。地力が試される2年目は、緻密な戦術の徹底とルーキー6人から新戦力の融合で上位に食い込めるか。地域リーグからは、昨季の社会人チーム日本一を決めるチャンピオンシップ大会で準決勝まで進んだ紀陽銀行が参加。元日本代表のレジェンドで、チームを率いて5年目となる永田睦子HCは「チャンピオンシップ優勝と国体優勝」と今季目標を明言。「シュート力と若さを前面に出せば十分にチャンスはある。あとは…もうちょっとはつちやけてほしい」と豪快に笑いつつ「仕事をこなしながら競技を続ける選手を心からリスペクトしています。だから多くの人に応援してほしい」と力を込めた。

おみ監督は「真面目に当たり前のことを徹底してやれる選手がそろった。経験を積んで、守りに入らず攻めていきたい」。下級生の「勢い」と上級生の「経験値」が頂点へのカギとなりそうだ。

世界基準で今も成長し続けている日本バスケット界の裾野は、実に広い。学生、社会人となった彼女たちの妥協を許さないひたむきなプレー、真摯な一つ一つの言葉から、その広がりやの深さを知ることができるはずだ。



日立笠戸

日立笠戸 山口県

新幹線の製造で知られる山口県下松市の日立製作所笠戸事業所が主体の地域リーグチーム。**梅田貴之監督**「司令塔の桑原結衣を中心に、速い展開の中で全員がシュートを決め切ることができれば、全国大会でも勝ち上がる。ただ全員、優しいすぎる性格が課題（笑）」



関西外国語大学

関西外国語大学 大阪府

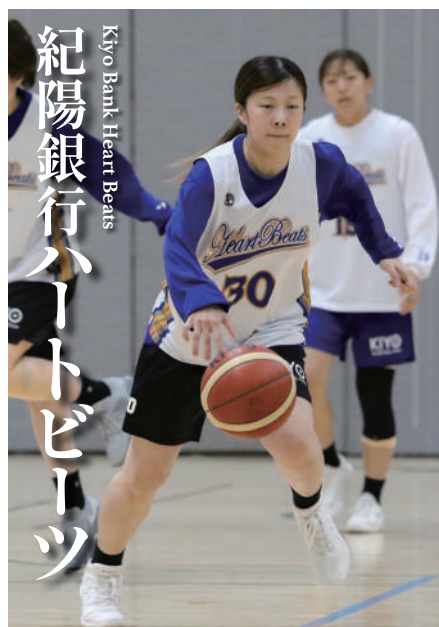
大阪府枚方市の片鉾キャンパスが練習拠点。サイズは小さいながらも走るバスケが身上。**白井徹監督**「アウトサイドの主力選手が多く、パッシングとカッティングでコート上の5人が運動して攻め立てたい。インカレでは昨季を超える8強を狙う」



姫路イーグレッツ

姫路イーグレッツ 兵庫県

昨シーズンからWリーグに参入。「イーグレッツ」は国宝姫路城の別名「白鷺」城から。**伊與田好彦ヘッドコーチ**「個の力に頼らずチームの戦術を全員が理解して、コート上でしっかり出せるように準備する。Wで昨季以上の勝ち星を挙げたい」



紀陽銀行ハートビーツ

紀陽銀行ハートビーツ 和歌山県

和歌山県を拠点に2011年設立。目的は「地域貢献」、目標は「日本一」掲げる。**永田睦子ヘッドコーチ**「若い選手が多くなり、チームの特長も変わっているが、選手一人一人に良い色がある。その良さが存分に出来るような環境を整えたい」



An exchange tournament for W League, Japan society basketball people, and university students mainly in western Japan

- OTCくきや
- 姫路イーグレッツ
- 滋賀銀行
- 紀陽銀行
- 日立笠戸
- 鶴屋百貨店
- 播磨ホワイトボックス
- アストライア

アステム湘南ウィクトリアス

Asatsu Shonan Victorias

アステム湘南ウィクトリアス 神奈川県

神奈川県茅ヶ崎市を拠点に2016年始動。総合型地域スポーツクラブとして地域密着を図る。壺坂剛ゼネラルマネージャー「アグレッシブに攻めて、観客に楽しんでもらえるプレーを目指す。8人と少人数だが強い意思を持った選手がそろっているのが強み」

Shiga Bank Lake Venus

滋賀銀行 Lake Venus

滋賀銀行Lake Venus 滋賀県

1976年設立の地域リーグチーム。スローガンは「スポーツを通じて地域社会に貢献する」。藤堂悠ヘッドコーチ「昨年は国体初優勝、今年はリーグ、チャンピオンシップも頂点を目指す。明るい雰囲気、幅広く応援されるチームになっていきたい」

Osaaka University of Health and Sport Sciences

大阪体育大学

大阪体育大学 大阪府

2007、2012年にインカレ制覇の名門。チームの伝統は「真面目さ」と皆が口をそろえる。村上なおみ監督「基本はディフェンス。相手に好きにやらせない状況から速い展開に持ち込み、アーリーオフェンスで点を取る試合ができれば結果はついてくる」

播磨 ホワイトボックス

Hatama White Bucks

播磨ホワイトボックス 兵庫県

兵庫県西部の播磨地域を拠点とする地域リーグチーム。Wリーグ姫路と姉妹連携。岩村裕美ヘッドコーチ「昨季のW組やルーキーら新戦力も加え、チャンピオンシップの切符をつかみたい。チーム一丸の守備、攻撃を強化し、新たな戦術も加える」

Tsuruya department

鶴屋百貨店

鶴屋百貨店 熊本県

熊本のデパートが母体で1954年創立の伝統を誇る。選手全員が売り場に立つ。鹿毛美智子ヘッドコーチ「サイズは小さいが守備で圧をかけて、速い展開から内外角ともに確率の高いシュートを狙っていききたい。ベテランと若手の融合で頂点を目指す」

Osaaka University of Human Sciences

大阪人間科学大学

大阪人間科学大学 大阪府

大阪府摂津市に学校法人薫英学園が設置する私立大学。薫英女学院高出身選手が多く在籍。濱崎菜主務「個性強めのメンバーがそろったが、出身校の関係なく話し合っって結束力が高い。個々の良さを生かせる、頭を使ったプレーを展開していきたい。」

アストライア 兵庫県

兵庫県姫路市を中心に2017年から始動し、トップリーグ昇格を目指す地域リーグチーム。泉川彩華監督「濃密にコミュニケーションを取って、ディフェンスを中心に結束して戦いたい。チャンピオンシップ大会に必ず出場し、みんなで成長する1年に」

Astraea

アストライア

Women's Basketball Categories

2023 GAME SCHEDULE

8

9

10

11

12

1

2

3

4

第90回皇后杯全日本選手権

1次リーグ

9.16sat・17sun

各ブロック会場

第90回皇后杯全日本選手権

2次リーグ

11.25sat・26sun

各ブロック会場

第90回皇后杯全日本選手権

ファイナル

12.13wed~17sun

国立代々木競技場

国民体育大会

10.12thu~16sat

鹿児島県姶良市

Wリーグ

レギュラーシーズン

10.14sat~2024.3.17sun

Wリーグ

セミクォーターファイナル

3.30sat

Wリーグ

クォーターファイナル

3.31sun

Wリーグ

セミファイナル

4.6sat~8mon

Wリーグ

ファイナル

4.13sat~15mon

地域リーグ

東日本

5.27sat~12.10sun

地域リーグ

西日本

7.22sat~2024.1.28sun

全日本プレミアムチャンピオンシップ

3.16sat~18mon

滋賀県大津市

第75回日本大学選手権(インカレ)

12.2sat~17sun

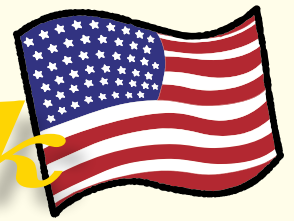
東京都・群馬県(予定)

Nissy's TRAVELLING Talk

～ Nissyのアメリカ観戦旅行記 ～

昼間は大学バスケットボールのカルチャーに触れ、夜はバスケットボール観戦。12泊12ゲームの超過密スケジュールにバンザイ!?

LOUISVILLE → CLEVELAND → MORGANTOWN → WASHINGTON



ブルーフィールドステート大学のゲーム

トラベリングトーク、といってもルール上の「歩いた!」ではなく、私自身がこれまで経験した「バスケ旅」の思い出を綴らせてもらいます。バスケットボールとの出会いは中学1年生、今から35年前。始めた理由は「水泳部がなかったから」でしたが、まさかそれが職業になるとは考えもしませんでした。大学卒業まで10年間プレーした後、現在までこの業界に身を置いているわけで、もう切っても切れない間柄。ひたすらバスケットボールがある場所を訪れる旅行記を通じて、このスポーツの魅力と奥深さが伝われば、と思います。

これまで5カ国、30都市以上を訪れましたが、2000年にアメリカのシカゴで開催されたBIG10(ビッグテン)トーナメントが旅の始まりでした。それから23年、本当にいろんな所に行かせていただきました。初めての海外観戦から現在までを綴ると分厚い本になる恐れがあるので、今回は2023年1月の渡米に絞りたいと思います。ちなみにその前は2020年2月。コロナで丸3年空いた鬱憤を晴らすべく特に綿密なスケジュールを組み、1月17日から4都市を巡る「12泊12ゲーム」の旅を堪能してきました。

Louisville ルイビル

最初の目的地はケンタッキー州ルイビル。初日は終日移動に時間を取られ、ホテルのチェックインは23時半、翌日からの過密日程に備え睡眠を取りたいのにジェットラグのせいで1時間おきに目が覚めてしまい、最悪のコンディションで観戦初日の朝を迎えました。とはいえ3年ぶりのアメリカ、気合を入れて向かった先は名門ルイビル大学キャンパス内にある練習場。女子チームのジェフ・ウォルツコーチ、スタッフの皆さんに挨拶をした後、シューティングに来た今野紀花選手(今季デンソーアイリス加入)にも会えました。午後は女子チームの練習を見学し、夜はダウンタウンにある



ホームアリーナ「KFC Yum Center」で男子チームのゲームを観戦。2日目も女子チームの練習をホームアリーナで見学、夜のゲームまで時間が空いたので、ルイビルの街を散策することに。空港に「WELCOME TO BOURBON CITY」と掲げられるほどバーボンウィスキーが有名で、お酒好きにはたまらない街ですよ!



KFC Yum Center

Cleveland クリーブランド



ロケット・モーゲージ・フィールドハウス

3日目は朝の飛行機でクリーブランドへ。3日間でキャバリアーズのホームゲーム(HG)を2試合、Gリーグを1試合観戦するのですが、ここに来た1番の理由は、かねてから親交のあるキャバリアーズのAC、トニーさんことアントニオ・ラングさんに会うことでした。かの有名なデューク大学出身で、NBAでプレー後JBLの三菱電機でプレー。引退してコーチ転身後も計13年日本で過ごされ、ご存知の方も多はず。さて肝心の試合ですが、キャブスの相手はゴールデンステート・ウォリアーズとミルウォーキー・バックス。昨年と一昨年のNBA王者が2日連続で観られるおいしいカード! のはずが試合前日、トニーさんから「主力は出ないよ」との衝撃報告が。試合前の会場は物凄い大ブーイングでした。GSWはカーリー、トンプソン、グリーン、ウィギンス。キャブスはミッチェルとルビオが欠場したので気持ちは分かりますが(苦笑)さらに翌日のバックス戦はアデトクンボと前日に引き続きミッチェルが欠場。なんという引きの強さ? しかしさすがはNBA、ゲームは十分楽しめたと、何よりトニーさんに久しぶりに会ってお話をできたことが最大の収穫でした。クリーブランド最終日は大雪の中、キャバリアーズ傘下「クリーブランド チャージ」のゲーム。初めてのGリーグ観戦ですが、チームで活躍する日本人がいました。ヘッドトレーナーのキクチタクヤさんです。試合前で挨拶程度しかできませんでしたが、今野選手に続いて米国で頑張る日本の方に会うことが旅のもう一つのテーマだったので、うれしい時間となりました。



アントニオ・ラングさんと

Morgantown モーガンタウン

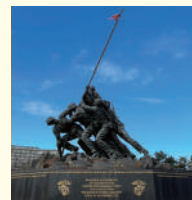
クリーブランドでの3連戦翌日は、悪天候の中ウエストバージニア州モーガンタウンにあるウエストバージニア大学へ。運よく男子チームの練習とホームアリーナの見学ができた上に、超有名なボブ・ハギンズコーチ(シーズン後に辞任!)にも挨拶。その後車で約1時間のフィリップという街に行き、NCAAのD2、アルダーソン・ブローダス大学のHGを観戦。ただお目当てはこの大学ではなく対戦チーム、ブルーフィールドステート大学のPG、大橋大空選手(洛南高校出身)でした。試合は残念ながら敗れ「不甲斐ない」

と肩を落としていましたが、ハッスルプレーでチームを鼓舞し続ける姿にパワーと感動をもらいました。その大橋選手は今季からBリーグの島根スサノオマジックに入団! アメリカで大きく成長した姿にご期待ください。



Washington ワシントンDC

さて、渡米8日目は首都ワシントンDCへ、ですが直前に大ニュースが入ります。ウエストバージニア大学のコーチから「ハチムラがたった今レイカーズにトレードされたよ」と伝えられ、観戦の予定はなかったもののその衝撃たるや……。ただ予定は変わりません。キャピタル1アリーナでジョージタウン大クーイングコーチの今季初勝利を目撃し、渡邊雄太選手の母校として知られるジョージワシントン大の延長戦勝利を見届けました。昼間はメリーランド大学とギャローデット大学の練習を見学したのですが、ここで日本だと耳にすることはほとんどないギャローデット大を少し紹介します。この学校は主に聴覚障害を持った学生が対象のいわゆる聾学校なのですが、驚くことにNCAAディビジョン3に所属しています。つまり健常者チームとシーズンを戦っているということ。コーチのステファニーさんは健常者ですが練習中は喋ることはありません。手話だけで指導します。それでも情熱を感じるコーチングでした。さらに、この大学のヘッドトレーナーは小嶋真理子さんという女性で、ここではとても書ききれないほど興味深いお話を聞くことができました。



海兵隊記念碑

そろそろ体力の底が見え始めた渡米10日目、せっかくDCに来ているので合間に観光らしいことも。合衆国海兵隊記念碑やリンカーンメモリアルなどを散策して、午後は前日に引き続きメリーランド大女子チームの練習見学。たまたまあったフィルムセッションで選手に紹介までされてしまい「こいつ誰やねん?」と思われたことでしょう。夜は本拠地で観戦(9試合目)。翌日11日目はギャローデット大学の試合、そのまま車を飛ばしてGリーグ、キャピタルシティゴージャーズの試合とハシゴ観戦。ただいずれも、これまでの疲れを吹き飛ばしてくれるナイスゲームでした!



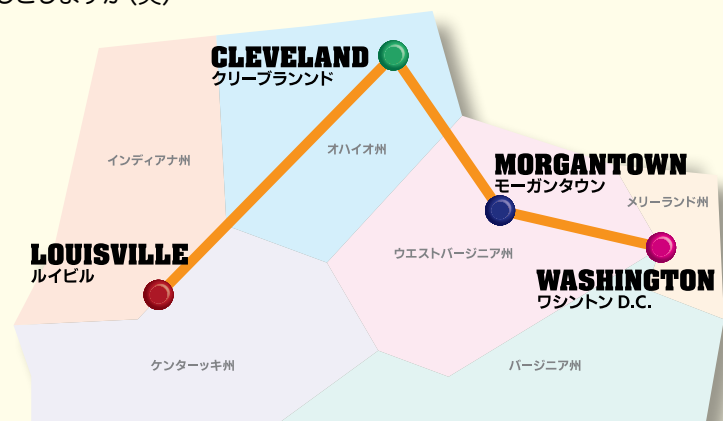
ギャローデッド大学の練習場



メリーランド大学 対 ネブラスカ大学

そしてついに最終日。昼間はメリーランド大女子の練習に再びお邪魔して、夕方から男子のHGを観戦しました。今回のラストゲームです。対戦相手はネブラスカ大学。そう、富永啓生選手の所属チームで、彼もスタメン出場。バスケットボールの母国で頑張っている姿を目の当たりにして、とても感動しました。少しでしたが試合前に富永選手と話をすることもできましたし、あと1シーズン、NBAを目指して頑張ってもらい!

以上、3年ぶりの渡米でした。「毎晩観戦」の過酷な旅はこれを最後にしたいのですが、また行くとすると懲りずにいろいろ調べあげて詰め込んでしまいそう……ま、それもまたよしとしますか(笑)



文・写真 西嶋 浩彰 text & photographs by Hiroaki Nishizaki

神戸生まれ。学生時代10年間バスケットボールで汗を流し、現在は観戦専門。ここ数年はNBA、NCAAなど合わせて年間10試合以上を現地観戦。趣味はカレッジキャンパス巡り。

バスケットボールにまつわるあれこれを幅広くお届けします。

ハッスルボード編集部
Hustle Board Editing Division

all about basketball

Wリーグ

審判

映画

街コート

Topic 1

デンソーアイリスに2選手加入

第25回Wリーグ2023-24、デンソーアイリスに、東京五輪銀メダリストの馬瓜エブリンと米国・ルイビル大出身の今野紀花の両選手が加入する。愛知県刈谷市での会見で、ともに異例のキャリアを歩んだ経験を生かし、リーグチャンピオン達成へ貢献することを誓った。

22年7月から「人生の夏休み」と宣言して選手活動を停止していた馬瓜選手。けがの影響も明かした会見では「選手を大切にしてくれるチームに加わることができてうれしい。優勝すればWに新たな歴史を刻むことができる。リッさん(高田真希選手)に何も持たさず引退させられないですから。あ、50歳まではやと思いますけど(笑)」と持ち前の明るさを披露しつつ、「休むと発表した時点ですでにプレーしたくてたまらなかった」と復帰までの情熱も明かした。

さらにビジネスや社会貢献活動と競技との両立について聞かれると「(周囲から)心配もあると思うが、好きだからやっていることは止められない」と、従来の選手像に縛られない活躍を思いつている様子。

一方、宮城・聖和学園高からNCAA(全米体育協会) Div.に進み、全米大学選手権も経験した今野選手は、高校時代に対戦した赤穂さくら、ひまわり姉妹との共闘が楽しみだという。

「日本のバスケは速さ、走力が求められる。アメリカでは当たりの強さや高い戦術を学んで、個人的には3ポイントシュートの精度を向上させることができた。ボールプッシュでテンポを上げ、果敢にアタックしてチームに勢いを与えたい」と意気込みを語った。また、馬瓜選手に呼応するように「(高田選手を中心に)従来のチームをサポートするというより、引っ張っていくくらいの気持ちでプレーしたい」と声をそろえた。

今季のWリーグは2023年10月に全国各地で開幕、24年3月末に始まるプレーオフで頂点を目指す熱い戦いが繰り広げられる。



馬瓜エブリン

今野紀花

Topic 2

ルールを知ってスキルアップ!

バスケに限らずスポーツは、決まりごとの中での競争だからこそ面白い。「ルールを知ってスキルアップ!」クイズで、あなたもバスケットボールIQを磨いてみよう!
○×式で考えてみてね!



監修 Y社員

ミニバス・中学・高校とプレーして、大学生からシェフエリを始めた元公認S級審判[Y]。オンザコート社内での任務は一応、謎ということになっている。

まずは、基本だけど案外見落としがちところから

中学生以上のコートの大きさは、境界線の内側から測り縦32m、横19mである。これは○か×か?

Q.1

【Y解説】コートの大きさについては許容範囲も明記されていて、実は正式なコートでなくても公式戦のゲームは成立するんだよ。よく使う体育館のコートの大きさを調べてみよう! もしかしたら公式試合でよく使う大きな体育館とはかなり差がある、なんてこともあるかも。

次に、審判はいろんな状況を見て判断するという事例から

サイドライン近くのコート内で、両手でボールを持った選手A①が相手選手B①に近接してガードされヘルドボールとなった。その間にA①の片足がアウトオブバウンズに触れたが、審判はジャンプボールシチュエーションを宣した。これは○か×か?

Q.2

【Y解説】コートのラインを選手が超えたからといってバイオレーションにならないこともあるんだよ。その前にボールがどういう状況だったか、選手の足がどの場所に着いていたか、それ以外の選手がどうだったかもバイオレーションに必要な判断材料なんです!

最後に、新ルールでの変更点からの出題

第4クォーター残り48秒、チームA 83-80チームBで、スローインをするA①の手からボールが離れたとき、スローインが行われている場所とは別の場所のコート上で、B②がA②に触れ合いを起こした。B②はA②に対するスローインファウルを宣せられた。これは○か×か?

Q.3

【Y解説】以前はアンスポーツマンライクファウルとなっていたがパーソナルファウルであるスローインファウルになりました。もしも手の中にボールがあったとして上記のファウルがあった場合は、フリースロー1本とファウルが起きたもっとも近いアウトオブバウンズからファウルされた側のスローインとなりますよ。

(答えは次ページ下部に記載しています。)

Topic 3

勝手におすすめ。バスケ名作映画10選!

ネット配信の普及で過去の名作映画が簡単に見られる現在、逆に作品が多すぎて何を観たいのか分からない! という方、いませんか? 映画もバスケも大好きだという皆さんに、ハッスルボード編集部が厳選したおススメ10選をお届けします。

左: ONE ON ONE
右: アンクル・ドリュウ

①ONE ON ONE (1977)

1980年代、テレビの「洋画劇場」で観た当時の私はバスケを始めたばかり。物語の深みを理解するには至らずも、派手なプレー映像に引き込まれ真似を繰り返しました。ただ今見返すと、まったく実用的ではなかったという……。

②バスケット・ボーイ/

ピート・マラヴィッチの青春(1990)
ご存じ「ピストル」ピート・マラヴィッチの……え!? ご存じない? 詳細は検索していただくとして、NBAに時折現れる「魔法使い」の源泉を見つけた気分になれますよ。「Oh! Majic!」

③ラストゲーム(1998)

スパイク・リー監督がレイ・アレンを起用して、米国大学スポーツの複雑な環境に家族の問題も織り交ぜた作品。物語のリアリティを支えるのはレイの父親を演じる主演、デンゼル・ワシントンのプレーぶり。本当に上手いんです!

④コーチ・カーター(2005)

カリフォルニア州リッチモンド高校が舞台の、実話を基にした映画。本当にこんな素行の悪そうな高校生がプレーできるの? って感じですが、そこから見事にみんなの「人生を」立て直していくコーチ、本当に尊敬します!

⑤グローリー・ロード(2006)

1960年代の米国、大学バスケ界に色濃く残る黒人差別に抗い、乗り越えたチームのこれまた実話に沿った物語。アメフトが題材の「タイタンスを忘れない」のバスケ版とも評されますが、話の深さは負けていません。

⑥モア・ザン・ア・ゲーム(2008)

全米中の話題となる前からの「キング」と、その仲間たちの9年間を追ったドキュメンタリー。ア

残されていた映像自体も貴重ですが、何より今現在もトッププレイヤーの1人として活躍するレbron・ジェームスに最敬礼!

⑦女バス(2008)

原題は「The heart of the game」。シアトルの高校女子チームを7年間追い続けたドキュメンタリー作品。「超」弱小校が新コーチの指導の下、さまざまな困難を乗り越えていきます。が…練習の内容や乗り越え方に「女子力」を感じる秀作。

⑧アンクル・ドリュウ(2018)

これはカメオ出演含め、すごいキャストです。書ききれませんが、「キャスパー」役のアーロン・ゴードンにぜひご注目! 今年デンバー・ナゲッツのNBA初優勝は、もちろんヨキッチ&マレーが中心でしたが、彼の成長&変化がなければ成しえなかったでしょう。あとはカイリーの動向も気になりますね。

⑨HUSTLE(2022)

米俳優のアダム・サンドラーがNBAスカウトを、ファンチョ・エルナンゴメス(トロント・ラプターズ)が知られざる若手選手を演じるスポーツドラマ。冒頭、テレビ電話で出演するダーク・ノビツキーの演技が最高です。悪役に徹して熱演するアンソニー・エドワーズが本当に嫌な奴に見えて、心配になります(笑)

⑩リディームチーム(2022)

リディーム=取り返す。2008年の北京五輪で金メダルを取り返した、アメリカ男子五輪代表チームの物語です。2006年W杯(日本開催)で再起に失敗したレbronたちに力と勇気を与えるコービーの姿は涙無しに観られません。観終わった余韻の中で、『Dear Basketball』(2017)を観ることをお勧めします!

Topic 4

ぶらり、街コート

日本代表を頂点にBリーグ、WリーグからU-12まで、さらに3×3や車いすなど全カテゴリーで盛り上がるバスケットボール。あの超人気漫画劇場版の記録的ロングヒットやポストコロナの後押しもあって、今後ますます人気が高まることでしょう。

さてみなさんは、どのようにしてバスケライフを楽しんでいますか? 試合会場で観戦・応援する文化も広く根付いていますし、スマートフォン越しにいつでもどこでも視聴できるようになりました。が、やはりバスケットボールは「プレーする」のが楽しい! ということで、私が暮らす兵庫県で、気軽にだれでも安心して利用できる屋外コートを紹介します。

最初のおすすめは、神戸から西へ車で1時間ほどの沿岸部にある「伊保スポーツ広場」です。こちらは2023年4月1日にオープンしたばかりのピッカピカの施設。正規サイズのバスケットコートはブルー基調でペイントエリアがグリーンのアスファルト、周囲は金網で囲われている本格仕様。園内にはサッカーやラグビーのできる人工芝フィールドやランニングコースもあります。コートは有料で、個人だと1時間400円(地元民は半額)で使えます。さらに午後9時まで使える(照明使用料金は30分200円)ので使い勝手も良い。たまたま居合わせたプレイヤーとのピックアップゲームや1on1は街コートの醍醐味ですが、そういうのは少し苦手……という人は事前に団体利用で予約するのがいいかもしれません(平日1時間2,000円で貸し切りOK)。

次に神戸・三宮中心部にほど近い「みなとのもり公園」。アスファルトのフルコートとハーフコートでリングは計3基あり、無料で使えます。スケボー施設が隣にある街中の施設なので特に土日や夕方は利用者多めですが、一部高架下になっていて多少の雨風がしのげるのもポイント。また500mほど先の埠頭には、新B1でも使用可能となる「神戸アリーナ」の建設が始まっています。港町・神戸のバスケ熱がこの辺りでも高まりそうな予感がしますね。

みなとのもり公園
(神戸市中央区小野浜町)伊保スポーツ広場
(高砂市梅井6丁目814-5 ☎079-451-7308)

他にも県西部の「高浜総合公園(姫路市飾磨区阿成植木1133)」や東部の「西武庫HOOP(尼崎市武庫元町3-14)」などは使い勝手が良いと思います。兵庫県外のみなさん、旅行やビジネスでお立ち寄りの際はぜひ「CAGE」の中で「HOOP」してくださいね!

散策人 角田 優二

仕事・指導者(BAY CROWN Jr. U-15 女子HC)・選手(BLUE DEVILS[5人制]など)を掛け持ちする三刀流ハッスル社員



皆人公平
寄港中

スポーツ好きの編集者・ライター・とりわけバスケットボールはプレー歴があり好きが高じて、仕事として取り組むようになった。スポーツに限らず、さまざまなジャンルの書籍や雑誌、パンフレットなどの制作・原稿執筆も経験。近頃は関西バスケットに興味をそそられている。

Vol.1



『HUSTLE BOARD』（バスルボード）とは、目標達成のためにチームや個人が奮起する情報が詰まった掲示板のようなもの、とのこと。今回の情報発信源は港町・神戸に本社を構える（株）オンザコート。社屋は神戸港の一角・ポートアイランドにあり、市の中心部・三宮や神戸空港からのアクセスも良い。

主にユフオームや練習着、ソックスや小物類などのバスケットグッズを幅広くラインナップし、プロからミニバスまであらゆるカテゴリーをサポートする。受注から納品までの一貫生産体制はもとより、ファッション性の高いアイテムが揃う直営店『BALLER'S』も展開している。

さて、情報発信源のCMは、これまでとして、このコラムに寄稿する機会をいただいた経緯を少し。神戸で生まれ育ち、大学進学に際して上京、その後バスケットボール専門誌の編集やいくつかのバスケットメディアで仕事に就いた経歴があったことから『HUSTLE BOARD』にかかわる幸運を得た。現在、横浜在住ながらメールやZOOMなどIT技術の発達により、遠く離れていても仕事ができる。

「皆人公平、寄港中」というタイトルと付けたのは、ふると神戸から発信するバスケット情報が、少しでも読者のお役に立てるよう横浜から思いを馳せてのこと。今後、Web媒体との連動も模索中であり、読者と双方方向でやりとりができればと期待している。

思いを馳せるといえば、日本におけるバスケットボールの発展に大きく寄与した拠点のひとつが「神戸YMCA」だったことを忘れずにいたい。

「バスケットボールは、1891年（明治24）に、アメリカでJ.ネイスミスによって創

案された。わが国にはYMCAによって伝えられ、国内に広められていったのだが、それに貢献した人々は、さほど多くない。今回は、そのうちのひとりである宮田守衛に着目した。彼の生い立ちからバスケットボールを学んで帰国するまでを調べ、さらに、彼が神戸YMCAで紹介した後の様子も加味して、バスケットボールにまつわる宮田守衛の人物小史としてまとめた。これは、バスケットボールの歴史研究者、水谷豊氏による『バスケットボールの歴史に関する一考察（X）―宮田守衛略伝―』（上越教育大学研究紀要第4号 昭和60年）にある記述だ。

そもそもバスケットボールは、ネイスミスがマサチューセッツ州スプリングフィールドにある国際YMCAトレーニングスクール在職中に考案した競技で、その後全米各地や世界中に伝わっていく上でYMCAの存在は不可欠だった。

「わが国のバスケットボールが初めて公式の国際舞台に登場した1917年（大正6）の第3回極東選手権競技大会の日本代表チームは、京都YMCAであった。ところが、神戸YMCAチームは、京都YMCAチームと代表決定戦をおこなっているのである。」（前掲『宮田守衛略伝』とのことだ。

水谷氏による『宮田守衛略伝』には数々の興味深い記述がある。中でも「東京YMCA初代体育部主事となった大森兵蔵は、1908年（明治41）にわが国に初めてバスケットボールをもたらした」と言うものの、結果的にはほとんど実らなかった。そういう意味では、わが国に実質的にバスケットボールを初めて伝播する役割を果たしたのは、まさしく、宮田守衛にほかならない。それは、同時に、関西地区はもとより、わが国のバスケットボールの歩みの足がかりを創建したのだということの意味する。」という箇所にも深い感銘を受けた。宮田守衛によるバスケットボールの紹介が的確だったからだという記述もある。

神戸YMCAが「日本初」ではなかったとしても、バスケットボールとのかかわりについて

は長い歴史があるのは間違いない。神戸のみならず、関西のバスケットボールの歴史にもっと触れてみたいと思う。

最後に「インターハイ特集」に寄せてエピソードをひとつ。社会人1年目の夏、インターハイを初めて取材した時のことだ。それは1982年、第35回鹿児島インターハイ。新人に取材チームのチーフを任せ、経験を積ませるというのが当時の編集長の考え方だった。緊張感を持ちつつ取材地に向かう……はずだったが当日、目を覚ましたのは先輩フォトグラファーと待ち合わせを約束した新幹線の発車時刻……ぬけ殻のような布団を残し、大急ぎで東京駅へ。

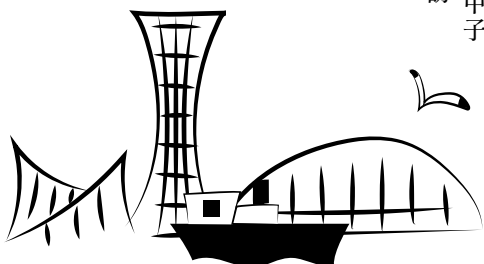
もちろん間に合うはずはなく、遅れに遅れて現地へ到着し、翌日からの取材に備えてミーティングを行うはずのホテルへ直行した。

先輩フォトグラファーは座席を確保していたにもかかわらず、列車を降りて待つことにし、諦めて乗り込んだ列車では席を確保できずに立ったまま鹿児島へ移動。大遅刻したお陰で少し空いていたのか、悠々と車窓を眺めて来たことに反省しきり。先輩諸氏の鋭い視線を浴びながらも、熟睡して取材に備えた。

また、この大会は女子の兵庫県代表チームが好成績を収めたことも記憶に残っている。当時、県内で覇を競った甲子園学院が準優勝、夙川学園が3位に入った。ちなみに優勝は千葉県代表の昭和学院だった。

企画のひとつで甲子園学院の宿舎を訪ねた際、霜村（武彦）先生に神戸出身だと伝え

ると、笑みを浮かべてお話ししてくださったことも懐かしいインターハイの思い出である。



アンケートに答えて
プレゼントをもらおう!!

読者プレゼント



抽選で16名様にアメリカ観戦旅行お土産・Tシャツ(BALL LINE/PASS THE ROCK/PEANUTS)のいずれかが当たります!ご希望の品かブランド名(サイズも)をご入力の上どしどしご応募ください!

締切

2023年8月31日(木)
23時59分

※回答はお1人1回までとさせていただきます。
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
※発送は2023年9月上旬を予定しています。
※本アンケートは予告なく変更・中止させていただく場合がございます。

スマートフォン、PC、
タブレットから応募

<https://onl.la/ymW9hQW>

にアクセスしてアンケートにお答えください。



※一部の端末・機種でご利用いただけない場合があります。予めご了承ください。



着用モデル(182cm)
上:XL 下:XL



TEENY MATES SUPERSTAR COLLECTOR SET
NBA スーパースターコレクターセット



BALL LINE
Tシャツ



PASS THE ROCK
Tシャツ



PEANUTS
Tシャツ

※ウェア写真はイメージです。実際にお送りするプレゼントとは異なります。
また、ウェアご希望の場合はサイズをお忘れなく!